

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月26日

計画の名称	名古屋港の快適な港湾空間の形成												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	名古屋港管理組合												
計画の目標	中川運河において、水質改善施策を行い、市民等が水辺を不快なく散策できる水辺環境の創出を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,810	A	1,810	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	中川運河における水質改善施策の進捗率を0%(H27)から100%(H31)とする。 【水質改善】中川運河における水質改善施策の全体事業費に対する整備済み事業費の割合を算出 (進捗率) = 整備済み事業費 / 全体事業費 (%)	0%	45%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

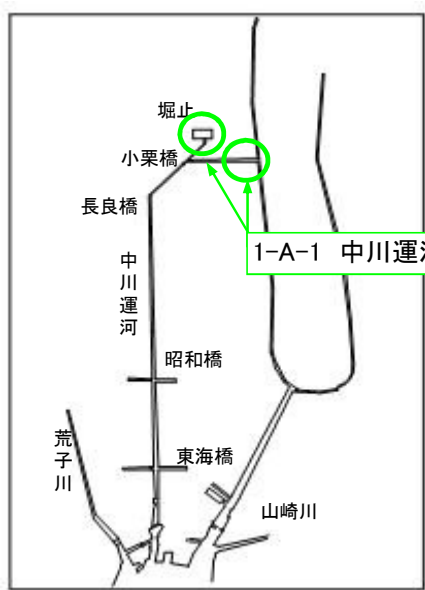
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	施設改 良	中川運河水質改善事業	ポンプ場の改修、堀止におけ る覆砂等	名古屋港 中川 運河地区						1,810	-	
新規 図面：1-A-1																			
											小計						1,810		
											合計						1,810		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
公正な評価に向け、幅広い見地から意見を得るため、令和3年1月14日に学識経験者で構成する「名古屋港管理組合公共事業評価委員会」を開催し、事後評価を取りまとめた。	令和2年度
	公表の方法 名古屋港のホームページにおいて、事後評価を公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	堀止における吐出管の整備完了により、平成29年10月から約3万m ³ /日の高度処理水が堀止地区より送水された。また、堀止地区以外に露橋水処理センターからの約3万m ³ /日の送水と併せて、中川運河全体で約6万m ³ /日の高度処理水が新たに送水されており、中川運河の水循環が促進された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
中川運河の水循環を促進し、中川運河を訪れる人々が水辺を不快なく散策できる水環境の創出を図るため、目標達成に向け引き続き整備に努める。また、令和2年度から補助事業に移行したことから、施策の進捗に占める割合の大きい松重ポンプ所の更なる整備促進を図る。	

(図面)

計画の名称	1 名古屋港の快適な港湾空間の形成	交付対象	名古屋港管理組合
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)		



1-A-1 中川運河水質改善事業

